

4月7日開催の第1回選手強化委員会で次の国際大会の選考基準が決定されました。

世界選手権大会については7月のIWF総会で詳細が決定するためその後の審議となります。

① アジア競技大会（8月18日～25日：インドネシア国、ジャカルタ市）

選考大会：①全日本選手権大会

②2018・2017全日本ランキング（上記①の大会で有望選手に不測の事態が起きた場合）

選考基準：JOCの派遣方針「メダル獲得及び入賞が十分可能な選手」の方針から、2017アジアランキング3位の記録を基準とする（KAZはIWFから2017.10.19より1年間の活動停止処分を受けているため除きます）。

なお、女子69kg級は63kg級の記録より低いため63kg級と同じ記録設定をしました。

男子	56kg級	273kg	62kg級	303kg	69kg級	326kg	77kg級	361kg	346kg
	85kg級	361kg	94kg級	387kg	105kg級	395kg	+105kg級	431kg	
女子	48kg級	193kg	53kg級	208kg	58kg級	222kg	63kg級	231kg	
	69kg級	231kg	75kg級	237kg	+75kg級	270kg			

選考については上記記録以上またはその記録に近い選手を選考。

実施階級：上記男子8階級、女子7階級

選考人数：男子8名、女子7名

選考日：6月2日（土）選手強化委員会 6月9日（土）理事会

② 日韓中ジュニア交流会（8月23日～28日：大韓民国、麗水市）

選考大会：全国高校選抜大会（3月）

選考基準：各階級優勝者（53kg級を除く男子8階級、女子8階級）

選考日：全国高体連委員会にて決定（6月2日・土 選手強化委員会）

③ 世界大学選手権大会（9月20日～25日：ポーランド国、ビアラポディラスカ市）

選考大会：全日本学生選抜大会、全日本ジュニア選手権大会、全日本学生個人選手権大会、全日本選手権大会

選考基準：過去の世界大学選手権大会の記録を基に選考

選考日：6月2日（土）選手強化委員会

④ ユースオリンピック競技大会（10月6日～18日：アルゼンチン共和国、ブエノスアイレス）

選考：有資格者（参加年齢・参加資格）より選考。（10月6日より18日の間、参加できる選手）

選考基準：全日本選手権大会までの公式記録（ブロック大会以上）でシンクレア計算する。

選考日：6月2日（土）選手強化委員会

※2018年ユースオリンピック大会について

開催場所：アルゼンチン共和国 ブエノスアイレス市

開催期日：2018年10月6日～18日

参加年齢：2001.01.01から2003.12.31の間に生まれたもの

参加枠：1カ国最大2名(同階級は1名)

参加枠獲得：2017年世界ユース大会上位7チーム(国)に2枠、8位から17位のチーム(国)に1枠。
上記大会で枠獲得できなかった国は、2018年各大陸ユース大会上位4チーム(国)に1枠。

参加資格：2017年世界ユース選手権大会

2017年大陸ユース選手権大会

2018年大陸ユース選手権大会 のいずれかに参加していること。

実施階級：男子6階級：56、62、69、77、85、+85kg級

女子6階級：44、48、53、58、63、+63kg級

⑤ 世界選手権大会(11月1日～10日：トルクメニスタン共和国、アシガバット市)

選考大会：①全日本選手権大会

②2018・2017全日本ランキング(上記①の大会で有望選手に不測の事態が起きた場合)

選考基準：7月にIWFより新階級(男子10階級、女子10階級)の提案があるため、その後審議。

選考日：9月上旬

⑥ 日韓中フрендシップ大会(11月5日・6日：大韓民国)

選考大会：(9月10日)までの公式記録

選考基準：23歳以下の選手を選考

選考日：9月中旬

※オリンピック参加資格対象大会になる場合は選考基準変更が必要なため再審議いたします。

※国際大会の選手選考については、選手の怪我防止のため短期間に続けての出場は避ける(基本前期1回、後期1回程度とする)。但し、予選会においてその大会の権利を得た場合は選手強化委員会で審議する。